

コーラルテックス施工要領（リフォーム～クロスの上から～コテ仕上げ編）

ご用意いただくもの

- コーラルテックス
- 仕上げ用コテ（推奨品 ステンレス製 厚 0.5mm プラスチック製 1.0mm）
- コテ板
- ひしゃく
- 霧吹き
- 養生テープ（推奨品 養生テープ 24mm 以上）
- マスカー（推奨品 マスカー 1100mm）
- ブルーシート
- スポンジ研磨材 細目（推奨品 3M「スポンジ研磨材 細目」）
- 多用途シール（推奨品 コニシ「目地・すき間壁のひび割れに」）
- ヘラ
- 道具洗浄用ブラシ
- ペーパータオル

作業手順

① クロスの洗浄

クロスのひどい汚れは、洗剤を使用してきれいにしてください。
特に油汚れは接着の妨げになりますので、十分に汚れを落と
してください。

タバコのヤニが着いている場合は、ヤニ止めシーラーを塗布
してください。



② 養生

コーラルテックスがついては困るところを養生します。
床はマスカーで、その他は養生テープを使用します。

③ クロスの補修（必要に応じて）

クロスが乾いていることを確認してから、多用途シールを
使用してヘラでクロスの破れ、目地割れを補修してください。



※ 推奨品（多用途シール）の上にもコーラルテックスは塗れます。

④ コーラルテックスの塗布【下塗り】

コーラルテックスをブルーシートの上で開封し、ひしゃくでコテ板の上にのせて仕上げ用コテで出来るだけ壁全体に薄く、クロスの凸凹が平滑となるように塗布します。

大きな塗り厚ムラが大きい場合は、塗布量が多い状態（厚過ぎる）なので、圧を掛けて塗り伸ばしてください。この工程で、クロスの概ねの凸凹がない状態にしてください。

※ 作業中、コーラルテックスの缶にはフタをのせて、コーラルテックスが乾燥しないようにご注意ください。

使用後は、缶内の縁や側面に付着したコーラルテックスをペーパータオルでふき取り、霧吹きで水を少量吹きかけてフタを閉めます。（当初にあったフィルムは捨ててください。）

※ コーラルテックスが付着した養生テープは、この④工程後、乾燥するまえに、一度取り外します。

※ 道具はペーパータオルでコーラルテックスをふき取ってから水で洗います。



⑤ コーラルテックスの塗布【上塗り】

下塗りの工程④が乾いた後（1日以上を推奨します）、再度②の要領で養生を行います。

コーラルテックスを開封し、乾燥したカスや粉が入った場合は取り除きます。

仕上げ用コテでコーラルテックスを塗布し、ご希望の模様を付けます。厚みは1～2mm程度です。

※ 細かい欠点は気にせず大きな面としての美観を意識してください。

※ やや乾燥した箇所を補修する場合、霧吹きで水が垂れない程度に吹き付けて補修をしてください。



⑥ 補修（乾燥後）

a. 出隅（角）などの凸凹や補修したい凸部は、コーラルテックスの完全乾燥後、3M「スポンジ研磨材 細目（#240～#320）」で研磨して補修を行ってください。

b. 補修したい凹部には、コーラルテックスの乾燥後、再びコーラルテックスを塗布することも可能です。

この場合、霧吹きで水が垂れない程度に吹き付けて周囲と馴染むように補修を行ってください。

